

HPV（子宮頸がん）ワクチン

HPVワクチンの接種を逃した方を対象に、
あらためて公費での接種の機会が設けられています。

厚労省 HPV



健保だより

令和6年4月10日号

※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1092号
(令和6年4月10日発行)に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です

対象となる方は下記の2つを満たす方

- ① 平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性
(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)
- ② 過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

注意

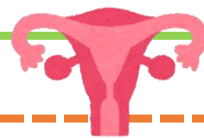
公費による接種は「2025年3月末」まで！
接種回数は合計3回です。接種が完了するまでに約6か月
かかるため、希望する方は、お早目の接種をご検討ください。



子宮頸がんとは？

日本では毎年1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約2,900人の方が亡くなっています。
若い年齢層で発症する割合が比較的高く、患者さんは20代から増え始めます。治療により30代までに
子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)方も1年間に約1,000人います。

子宮頸がんは、子宮の頸部(子宮の出口に近い部分)にできるがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)の
感染が原因と考えられています。感染は主に性的接触によって起こり、女性の多くが一生に一度は感染する
と言われています。



子宮がんで苦しまないために“できることが2つ”あります

- ① HPV ワクチンの接種 … HPV の感染を予防します
◎ 接種方法など詳細に関しては、住民票のある市区町村からのお知らせをご覧ください

- ② 子宮頸がん検診を定期的に受診 … がんを早期発見し、治療します

重要! ワクチンで防げない HPV 感染もあるため、HPV ワクチンを受けた方も、
子宮頸がん検診を定期的に受診することが大切です



※ワクチン接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を受けた医療機関等の医師にご相談ください。
HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関をお住いの都道府県ごとに設置しています。
協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけ医師にご相談ください。

健保ホームページのご案内

身体や心の相談ができる「ダイワボウ健康相談室」もご覧いただけます。
スマートフォンから見やすくなっておりますので、ぜひご活用ください。



健保 HP スマホ用 QR コード

